



富士・箱根・伊豆

# 皇室ゆかりの庭園

皇室の歴史と文化に触れる

JAPAN  
GARDEN  
TOURISM



恩賜箱根公園



三島市立公園楽寿園



沼津御用邸記念公園



秩父宮記念公園

## ガーデンツーリズム登録制度

日本には、日本庭園や花の公園など、地域ならではの特色を持つ多様な庭園が存在し、観光客に人気を博していますが、その魅力を十分に伝え切れていない「隠れた庭園・花の名園」も数多くあります。

国土交通省は、地域の活性化と庭園文化の普及を図るため、各地域の複数の庭園の連携により、魅力的な体験や交流を創出する取組をガーデンツーリズムとして、その計画を登録し、支援する制度を創設し、令和元年5月に第1回登録がされ、富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム計画が選ばれました。

ガーデンツーリズム  
登録ロゴマーク



登録証



地図データは国土交通省国土地理院地図引用  
(<http://www.gsi.go.jp/>)

庭園巡りで皇室の歴史や文化を感じてみましょう！

## 皇室ゆかりの庭園 周遊ルート

### 公共交通機関周遊例

#### 1日目

新宿高速バスターミナル → 小田急箱根高速バス → 御殿場駅 → 富士急行バス → 秩父宮記念公園 **1時間 50分**

秩父宮記念公園 → 箱根登山バス → 仙石 → 小田急箱根高速バス → 桃源台港 → 海賊船 → 箱根町港

..... → 恩賜箱根公園 **1時間 15分**

■ 宿泊 富士屋ホテル（菊華荘）・強羅花壇（旧閑院宮別邸）等

#### 2日目

箱根町港 → 東海バスオレンジシャトル → 三島駅 ..... → 三島市立公園楽寿園 **55分**

三島市立公園楽寿園 ..... → 三島駅 → JR東海道本線 → 沼津駅 → 伊豆箱根バス → 沼津御用邸記念公園 **30分**

沼津御用邸記念公園 → 伊豆箱根バス → 沼津駅 → JR東海道本線 → 小田原駅 → 小田急ロマンスカー → 新宿駅

**2時間 45分**

### 自家用車周遊例

東京 IC → 東名高速道路・一般道路 → 沼津御用邸記念公園 **1時間 40分**

沼津御用邸記念公園 → 一般道路 → 三島市立公園楽寿園 **30分**

三島市立公園楽寿園 → 一般道路 → 恩賜箱根公園 **35分**

恩賜箱根公園 → 一般道路 → 秩父宮記念公園 **40分**

秩父宮記念公園 → 東名高速道路・一般道路 → 東京 IC **1時間 5分**



Land flōra

〒157-0071 東京都世田谷区千歳台 1-1-18 TEL:03-5490-8757  
ランドフローラ <http://www.landflora.co.jp/>



# 恩賜箱根公園

～「旧箱根離宮」跡地～

恩賜箱根公園は「旧箱根離宮」跡地に広がり、公園からは芦ノ湖や箱根外輪山、富士の峰が一望でき、その見事さから「かながわ景勝 50 選」や「関東の富士見百景」に選定された他、当時の地形や施設の痕跡（正面傾斜地の園路や二百階段等）を生かした公園整備が行われていること等から、近代における造園文化の発展に寄与した意義深い事例として平成 25 年に国の登録記念物（名勝地関係）となりました。また、園内のアセビ、マツ、ツゲ、キャラ等は丁寧に仕立てられ、園内各所から見ることのできる富士山、箱根外輪山、芦ノ湖と見事に融合し、魅力的な景観となっています。

春にアセビが満開を迎えると、後を追うように 300 本を超えるマメザクラが咲き誇り、ツツジやヤマユリなどがその後園内に彩りを添えます。

年間を通じて、牡丹や菊、バラなどの花の展示、インバウンド観光を考慮し、和の文化を伝える、野点や和太鼓、尺八演奏などのイベントを開催しています。

箱根離宮は、日本の皇室の方々のほか、外国の皇室等の来賓も多く訪れました。

離宮の建築物は震災により被災し取り壊されてしまいましたが、その遺構や、正面傾斜地の園路、二百階段など往時の施設の痕跡が現在も残されています。

また、離宮の西洋館を模して造られた「湖畔展望館」には、箱根離宮建設計画から完成までの資料、往時の宮殿や庭園の写真、離宮を訪れた来賓の記録などが展示されています。

来園者が庭園や展示を巡ることで、離宮の歴史と浪漫を感じられます。



〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 171

【TEL】0460(83)7484 【HP】www.kanagawa-park.or.jp/onsite

【アクセス】

公共交通機関 ●JR、小田急小田原駅から「箱根町港」または「箱根関所跡」行きバス約 55 分「恩賜公園前」下車

◆湖畔展望館◆【開館時間】9 時～16 時 30 分

◆駐車場◆【利用時間】7 時～21 時（入場は 19 時まで）

●小田急箱根湯本駅から「箱根町港」または「箱根関所跡」行きバス約 40 分「恩賜公園前」下車

【入館料】無料

【料金】普通車 320 円/h 大型車 850 円/h

お車

●小田原厚木道路小田原 IC から約 40 分 ●東名高速道路御殿場 IC から約 50 分

【休館日】12/29～1/3

二輪車 110 円/回

●国道 1 号三島から約 40 分

◆公園◆【入園】無料



# 三島市立公園 楽寿園

～「小松宮彰仁親王殿下別邸」跡地～

楽寿園は、明治維新で活躍された小松宮彰仁親王殿下が明治23年に別邸として造営し、昭和27年より市立公園として三島市が管理運営しています。三島駅のすぐ南に位置し、約1万年前の富士山の噴火の際に流れ出た溶岩流（三島溶岩流）及びその上に実生した自然林や野鳥を観察することができます。また溶岩下の伏流が出水期には清冽な水源をなし流れ出ています（小浜池等）。こうした溶岩流末端の標式的地形が豊富なものとして、昭和29年に史跡名勝天然記念物に指定されました。平成30年にはユネスコより世界認定された伊豆半島ジオパークのジオサイトに認定されています。

園内には県・市指定の文化財「楽寿館」をはじめ、どうぶつ広場のりもの広場、郷土資料館もあり、四季を通じて子供から大人まで楽しめる公園として親しまれています。

3月の雪割草展、東部鉢花展覧会、洋らん展、すみれ展を皮切りに、4月は小品盆栽展、えびね展、5月は春のさつきまつり、6月は初夏の山野草展、羽蝶蘭・山野草展、9月には水石展、10月は秋の小品盆栽展、秋の山野草展を開催するとともに10月から11月までは楽寿園菊まつり、11月には秋のさつきまつりを開催しています。

小松宮彰仁親王殿下や李王世子垣殿下が滞在された旧別邸は、「楽寿館」として一般公開されており、京間風高床式数寄屋造りの建物は三島市の文化財として指定され、館内の装飾絵画は静岡県内の文化財として指定されています。

楽寿館の前には、三島溶岩流やその上に実生した自然林、小浜池やせりの瀬などの溶岩下の伏流を活かした庭園が広がり、現在もその景観が保持されています。小松宮彰仁親王殿下は、別邸で地元三島の市民を招いて、園遊会を催したとの記録もあり、楽寿館や庭園を巡ることにより、往時の皇室の方々の営みや市民との交流などに思いをはせることができます。



〒411-0036 静岡県三島市一番町 19-3 【TEL】 055(975)2570 【HP】 [www.city.mishima.shizuoka.jp/rakujuu/](http://www.city.mishima.shizuoka.jp/rakujuu/)  
【開園時間】<4月～10月> 9時～17時（最終入園 16時30分）  
<11月～3月> 9時～16時30分（最終入園 16時00分）  
【入園料】<当日券>個人 300円 団体 270円（※30名以上）<年間入園券>1,000円  
【休園日】月曜日（祝日や振替休日の場合は、その翌日）、12/27～1/2

【駐車場】・2時間まで 200円、以後 30分毎に 50円（82台） ・車椅子使用者 200円 / 台  
・大型バス（要予約）無料（8台）

【アクセス】公共交通機関 ●JR 東海道線三島駅南口より徒歩 3分  
お車 ●東名沼津 IC → 伊豆縦貫道・三島加茂 IC より 12分



# 沼津御用邸 記念公園 ～「沼津御用邸」跡地～



沼津御用邸記念公園は、明治26年皇太子殿下（後の大正天皇陛下）のご静養のために造営された沼津御用邸の跡地に、昭和45年に開設された公園です。海岸は、自砂青松の風致景観を呈し、夏季は涼しい海風により避暑地、冬季は半臥山と防風林が季節風を遮って避寒地として保養の適地です。旧本邸、東附属邸、西附属邸の3つの地区からなり、旧本邸建物は昭和20年に空襲によって焼失しましたが、クロマツ林と芝生地、そして海浜に臨み、富士山・半臥山等を望む苑地は今も風致景観をよく保持しており、近代における近郊海浜保養地の優れた風致景観を伝える事例として重要であるとして、平成28年に、沼津御用邸記念公園の一部が「旧沼津御用邸苑地」として史跡名勝天然記念物の指定を受けました。

沼津御用邸記念公園には、皇太子殿下（後の今上陛下）のご成婚を記念した梅園があり、1月中旬から3月上旬に見頃を迎えます。その他、春の時期は、桜や藤、夏の時期はアジサイやハマナス、秋は浜菊、

冬はツワブキやスイセンなど、季節ごとに様々な彩りがご覧いただけます。

また、イベントでは、鯉のぼり掲揚や端午の節句飾り、とんび凧揚げ、あじさいまつり、七夕飾り、菊華展、歌会、ひな祭りなど、年間を通して多くの行事が開催されます。

沼津御用邸は明治26年以降、昭和44年に廃止されるまで、大正天皇陛下や昭和天皇陛下、上皇陛下、今上陛下はじめ、多くの皇室の方々が来訪されました。昭和20年の空襲により本邸は消失したものの、東附属邸学問所や西附属邸御殿は現存しています。

東附属邸では現在も文化講座や茶会などが催され、西附属邸は当時使われていた家具備品も保存されている謁見所や御玉突所を観覧できます。また、富士山や牛臥山を望む景観等もよく保持されており、当時の様子を偲ぶことができます。

〒410-0822 静岡県沼津市下香貫島郷 2802-1 【TEL】055(931)0005 【HP】www.numazu-goyotei.com

【開園時間】9時～16時30分

【入園料】※観覧料をお支払いいただくと西附属邸の中を見学できます。※団体は30名様以上

<個人>・入園のみ…大人100円、小中学生50円（幼児無料）・観覧料込…大人410円、小中学生200円（幼児無料）

<団体>・入園のみ…大人60円、小中学生30円（幼児無料）・観覧料込…大人260円、小中学生130円（幼児無料）

【駐車場】普通車 無料、バス・マイクロバス 1,040円/台

【アクセス】

公共交通機関●沼津駅から伊豆箱根バスで約15分「御用邸前」下車（沼津駅南口のバスターミナル7番乗り場）

お車 ●東名沼津IC（新東名長泉沼津IC）から20～35分



秩父宮記念公園は、昭和16年から使用された「秩父宮雍仁親王殿下御別邸」の跡地に広がる公園です。秩父宮妃勢津子殿下が平成7年にお亡くなりになられた際の御遺言により御殿場市に御遺贈され、園内整備後、平成15年に秩父宮記念公園として開園しました。別邸の母屋（築300年）は御殿場市の文化財に指定されています。また、この母屋を包み込むように咲き誇る樹齢130年余りの枝垂桜は、「生涯最高の枝垂桜」と呼ばれ、ライトアップされた美しさから日本夜景遺産にも認定されています。

# 秩父宮記念公園

～「秩父宮雍仁親王殿下御別邸」跡地～

夜桜ライトアップや、紅葉祭り、吊るし雛展などの魅力向上事業の他、遺贈品展示、秋の茶会、文化協会展示事業、各種緑化教室など、年間を通して多くのイベントが開催されています。

秩父宮雍仁親王殿下御別邸は、昭和16年から約10年間、秩父宮両殿下がお住まいになられました。御殿場市の文化財に指定されている茅葺の母屋は、一般公開されており、当時使われていた家具も保存されたリビングなどを観覧できます。

園内には殿下専用の防空壕や故三笠宮寛仁親王殿下がお書きになられた園名板、秩父宮両殿下が陶芸を楽しまれた窯（三峰窯）も現存しており、往時の皇室の方々の営みを感じられます。

園内では、秩父宮両殿下が愛された山野草など、四季折々の花が楽しめるよう、魅力的な庭園づくりを推進しています。



〒412-0026 静岡県御殿場市東田中 1507-7 【TEL】0550(82)5110 【HP】www.chichibunomiya.jp  
【開園時間】4月…9時～17時（入園は16時30分まで）5月・9月～3月…9時～16時30分（入園は16時まで）  
6月～8月…9時～17時30分（入園は17時まで）  
【入園料】<個人>大人300円、小中学生150円 <団体>大人250円、小中学生100円（10名様以上）  
御殿場市民無料

【駐車料金】普通車200円、バス・マイクロバス（100名未満）1,000円、（100名～）無料  
【休園日】第三月曜日（除祝日）、12/29～1/1 臨時休園日有 ※月曜日に祝日開園した場合はその翌日。  
【アクセス】公共交通機関 ●御殿場駅乙女口より路線バスあり  
お車 ●御殿場ICから車で3分



# 皇室ゆかりの民間施設



〒250-0404 神奈川県足柄下郡箱根町宮ノ下 359  
 【TEL】0460(82)2211 【HP】<https://www.fujiyahotel.jp/>  
 【アクセス】・小田原厚木道路小田原箱根ICより 20分  
 ・東名御殿場ICより 35分  
 ・箱根登山鉄道 宮ノ下駅より 徒歩7分

## 富士屋ホテル

宮ノ下御用邸 (現富士屋ホテル別館「菊華荘」)

箱根町の宮ノ下温泉には、明治天皇の第8皇女子、富美宮允子内親王殿下の避暑を目的に明治28年に建てられた宮ノ下御用邸がありました。終戦直後の昭和21年に払い下げられました。数寄屋風書院造りの純日本建築の落ち着いたたたずまいと美しい日本庭園を特徴とし、建物は、国の登録有形文化財(建造物)となっています。

箱根関所・  
箱根関所資料館

TEL 0460-83-6635  
 開館時間 9:00~17:00  
 (12月~2月は16:30まで)  
 年中無休 ※入場は開館の30分前まで  
 公式サイト <http://www.hakoneseki.co.jp/>



# 皇室ゆかりの民間施設



〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1300  
 【TEL】0460(82)3331 【HP】<http://www.gorakadan.com/>  
 【アクセス】・箱根湯本駅より箱根登山鉄道 強羅駅下車徒歩3分  
 ・小田原駅よりタクシー 40分  
 ・厚木ICより小田原厚木道路、国道1号経由 90分

## 強羅花壇

閑院宮御別邸 (現強羅花壇内)

閑院宮は、江戸時代に新井白石の建議により創設された宮家で、四宮家の一つです。6代閑院宮載仁親王殿下は、昭和3年、避暑のため強羅岩崎別荘に遊び、その縁で岩崎康弥氏より敷地を譲り受けて同5年に箱根に別邸を建てました。しかし、第2次世界大戦後に皇籍を離れ、別邸は強羅花壇の所有になり、平成2年より、別邸はレストラン「懷石料理 花壇」として利用されています。



株式会社  
**富士箱根緑化**  
 Landscape architecture



富士箱根緑化

検索



〒250-0401 足柄下郡箱根町宮城野233  
 TEL: 0460(82)1128  
 E-mail: [garden@fuji-hakone.co.jp](mailto:garden@fuji-hakone.co.jp)  
<http://fuji-hakone.co.jp>





# 花で巡る庭園

恩賜箱根公園

三島市立公園楽寿園

沼津御用邸記念公園

秩父宮記念公園



秩父宮記念公園の  
お土産に  
園内の花々を  
アクリル樹脂の中に  
咲かせました  
国陽工芸株式会社

〒185-0013  
東京都国分寺市西恋ヶ窪 1-45-20  
TEL:042-324-4008



**AMENIS**  
日比谷アメニス

〒108-0073  
東京都港区三田 4-7-27  
Tel : 03-3453-2401  
Fax : 03-3453-2426



**彩野苑**



御殿場市東田中 1916-2  
電話・FAX  
0550-83-9020





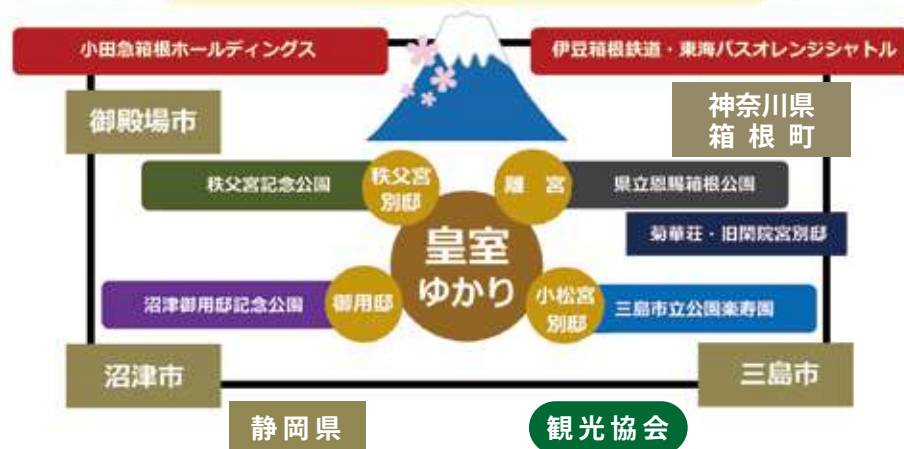
KURE TAKESO

Since 1948

〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場 1-1-26

TEL.053-453-1511 FAX.053-456-0897

富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム



協議会組織図

公園造成工事・都市緑化工事・庭園・ゴルフ場  
まちづくりと景観を考える

三和建设 株式会社

足柄下郡箱根町箱根 180

電話：0460-83-6781

公益財団法人  
神奈川県公園協会

URL: <http://www.kanagawa-park.or.jp/> TEL: 045-651-0931



〒422-8016  
静岡県静岡市  
駿河区西平松 195  
TEL 054-236-5515

静岡県・久能石垣イチゴの歴史

松平容保公の次男にあたる久能山東照宮宮司・松平健雄様より地元の車夫へイチゴ苗を授けられたのが久能石垣イチゴ栽培の始まりです。地元の方々の努力で石垣イチゴ栽培は 120 年に渡り連続と引き継がれています。

当園では従来の栽培方法でイチゴ狩りを楽しんで頂けます。

NPO法人 わかば会

- 小田原市地域活動支援センター
- グループホーム栢山寮

250-0005

小田原市中町 2-7-14 タジマビル

TEL/FAX 0465 (22) 8822



箱根のお土産  
銘菓なら

孫三・花詩

大正時代創業の銘菓



箱根を代表する老舗の菓匠 孫三総本家・花詩本店で湧く清らかな湧き水と良質な国産原料のみを使い、添加物は一切入れていません。昔ながらの製法で職人が手間ひまかけて作った和菓子を販売しております。

〒250-0402  
神奈川県足柄下郡箱根町木賀 934  
Tel. 0460-82-2465

各施設のイベント等の詳細につきましては、ホームページ等でご確認ください。

富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」  
ツーリズム協議会

事務局：恩賜箱根公園 管理事務所  
tel 0460-83-7484

(2020.2 発行)





恩賜箱根公園

### Onshi Hakone Park

Onshi Hakone Park opened in 1886. It was built on the site where the Hakone Imperial Villa, which served as a summer retreat for the imperial family members and welcomed foreign guests, had been built. Although the original building of the imperial villa has collapsed from two great earthquakes, the foundations (cornerstones) of the building and the 200-step staircase still remain. The beautiful scenery from the Lakeside Observation Building modeled after the imperial villa is almost the same as it was when the old building was still there. You can enjoy a great view of the stately Mt. Fuji and Lake Ashi, and the beautiful garden decorated with seasonal cherry blossoms and wild lilies as well as the autumn leaves in the fall.

### 恩賜箱根公園

恩賜箱根公園位于“箱根离宮”原址，是于 1886 年为供皇室避暑及款待外国来宾而建造的公园。离宮的建筑物因 2 次地震而倒塌，但保留着建筑物的基础（基石）及二三级台阶等遗迹。时至今日从仿造离宮而建的湖畔展望馆眺望出去的景色一如当年，富士山的雄伟、芦之湖的壮丽以及庭园的秀美，樱花、山百合等四季花卉及红叶也十分迷人。

### 온시하코네공원

온시하코네공원은 1886년, 황실 피서지와 국빈을 모시기 위해 건설된 ‘하코네 이궁’ 궁터에 조성된 공원입니다. 이궁의 건물은 두 번의 지진으로 무너졌지만 건물의 기초(초석)와 이백 계단 등 여러 흔적이 아직 남아 있습니다. 현재의 호반전망관은 하코네 이궁을 본떠 만들었는데, 이곳에서 보는 풍경은 과거 당시와 거의 변하지 않아 웅대한 후지산과 아시노코 호수의 뛰어난 전망, 아름다운 정원, 벚꽃과 산나리 등 사시사철 피는 꽃과 단풍도 아름답습니다.



三島市立公園楽寿園

### Mishima Municipal Park Rakujuen

Rakujuen is a garden that was built on the site where the villa of Prince Komatsu Akihito, a popular figure during the Meiji Restoration, was built, and therefore, is closely connected to the imperial family. Because Rakujuen is built on top of a lava bed from Mt. Fuji, you can observe lava stones everywhere in the garden. It is a natural park located just south of Mishima Station with a land area 1.5 times that of Tokyo Dome. There is also Rakuju-kan, a building that has been designated a cultural asset by the city. Inside, you can see many works of decorative paintings made by imperial household artists (artists who are of the living national treasure class) which are also designated prefectural cultural assets.

### 三島市立公園楽寿園

乐寿园是一所建于小松宮彰仁亲王（明治维新时期期的风云人物）别邸旧址，与皇室有渊源的庭园。乐寿园建于富士山熔岩之上，园内到处都可以观察熔岩，紧邻三岛站南侧，面积约为东京巨蛋体育馆的 1.5 倍，也是一所自然公园。园内还有市指定文化遗产“乐寿馆”，馆内可以欣赏到被指定为县文化遗产的帝室技艺员（国宝级画家）所描绘的多幅装饰画。

### 지치부노미야 기념공원

지치부노미야 기념공원은 1941년부터 사용된 ‘지치부노미야 야스히토 친왕 전하 별저’ 옛터에 만들어진 공원입니다. 지치부노미야 세쓰코 비전하가 1995년 서거했을 때의 유언에 따라 고텐바시에 기증되었고, 정비 후 2003년에 지치부노미야 기념공원으로 문을 열었습니다. 초가지붕으로 된 별저 안채(약 300년 전 축조)는 고텐바시의 문화재로 지정되어 있습니다. 또한 이 안채를 감싸듯이 피는 수령 130여 년의 수양벚나무에는 모든 사람의 마음을 사로잡는 힘이 있습니다.



沼津御用邸記念公園

### Numazu Imperial Villa Memorial Park

The Numazu Imperial Villa was originally built in 1893 as a retreat for Emperor Taisho (then Crown Prince). The villa was used by the successive Emperors and Empresses as well as other imperial family members for many years, until it was closed in 1969. The reason it is such a treasured place is because Numazu is a location that satisfies various conditions suitable for imperial villas, such as climate, natural features, scenery, and access. After the villa was closed, the site opened as Numazu Imperial Villa Memorial Park in 1970. The park is separated into three areas: the main building site, the West annex, and the East annex. In 2016, a part of the park where the former Numazu Imperial Villa stood became a nationally designated Place of Scenic Beauty.

### 沼津御用邸紀念公園

沼津御用邸是于 1893 年为供大正天皇（当时的皇太子）静养所建。直到 1969 年废弃，在此之前历代天皇皇后陛下以及皇室成员都曾下榻于此。可以说，正是由于沼津地区气候风土得天独厚，景观宜人交通方便，各方面条件都十分完善，才能获此青睐。结束了其作为御用邸的用途后，1970 年改为沼津御用邸紀念公園对外开放。园内分为 3 个区域，分别是本邸遗址、西附属邸和东附属邸，2016 年，本公园内的一部分作为原沼津御用邸苑地而被指定为国家名胜。

### 누마즈 황실 별저 기념공원

누마즈 황실 별저는 1893년에 다이쇼 천황(당시 황태자)의 휴양을 위해 건조되었습니다. 1969년 폐지되기 전까지 역대 천황과 황후 및 황족들이 이용하였습니다. 이는 곧 누마즈가 기후와 풍토, 경관과 교통 등 다양한 방면으로 조건을 갖추고 사랑받았다는 증거라 할 수 있습니다. 황실 별저라는 역할을 마친 후 1970년에 누마즈 황실 별저 기념공원으로 개설되었습니다. 공원은 본저 터, 서부속저, 동부속저 구역으로 나뉘어 있으며, 2016년에는 본 공원 내 일부가 구 누마즈 황실 별저 정원으로서 국가 지정 명승이 되었습니다.



秩父宮記念公園

### Chichibunomiya Memorial Park

Chichibunomiya Memorial Park was built on the site where Chichibu Imperial Prince Yasuhito's villa was first built and used in 1941. Following the will of Imperial Princess Chichibu Setsuko who died in 1995, the villa was bequeathed to the city of Gotemba and was refurbished and opened to the public as Chichibunomiya Memorial Park in 2003. The main building of the villa with 300-year-old thatched roof has been designated a cultural asset by Gotemba City. The over 130-year-old weeping cherry blossom tree that surrounds the main building with its magnificent blossoms every spring is another special attraction for visitors.

### 秩父宮紀念公園

秩父宮紀念公園是在昭和 16 年（1941 年）开始使用的“秩父宮雍仁亲王殿下御別邸”旧址上修建而成的公园。按照平成 7 年（1995 年）秩父宮妃势津子殿下逝世时留下的遗言，将别邸捐赠给了御殿场市，园内经过修缮后，于平成 15 年（2003 年）作为秩父宮紀念公園对外开放。别邸茅草屋顶的正堂（房龄 300 年）被指定为御殿场市文化遗产。仿佛拥抱着这座正堂、树龄 130 多年的垂枝樱的盛开，令每一个见到的人都为之倾倒。

### 지치부노미야 기념공원

지치부노미야 기념공원은 1941년부터 사용된 ‘지치부노미야 야스히토 친왕 전하 별저’ 옛터에 만들어진 공원입니다. 지치부노미야 세쓰코 비전하가 1995년 서거했을 때의 유언에 따라 고텐바시에 기증되었고, 정비 후 2003년에 지치부노미야 기념공원으로 문을 열었습니다. 초가지붕으로 된 별저 안채(약 300년 전 축조)는 고텐바시의 문화재로 지정되어 있습니다. 또한 이 안채를 감싸듯이 피는 수령 130여 년의 수양벚나무에는 모든 사람의 마음을 사로잡는 힘이 있습니다.



Gardens with a connection to the imperial family

Getting to know the history and culture of the imperial family

与皇室有渊源的庭园

了解皇室历史与文化

황실 인연의 정원

황실의 역사와 문화를 만나다



Fuji, Hakone, Izu "The Garden Related  
to the Imperial Family" Tourism Council

富士，箱根，伊豆“与皇室有关的花园”旅游理事会

후지 하코네 이즈 "황실 연고의 정원" 관광 협의회